

2023年8月22日  
株式会社 三菱地所設計

### 「(仮称) TTMプロジェクト」新築工事について

弊社で設計・監理業務を受託している「(仮称) TTMプロジェクト」新築工事について、本日、施工者である清水建設株式会社より、鉄骨建方精度の管理に起因した施工上の問題と是正工事、それに伴う竣工引渡日の変更についての発表がありました。

今回の事象は、施工者が鉄骨の建方精度不良を確認した時点で監理者並びに発注者への報告や協議を行わないまま工事を進めてしまった施工品質管理プロセスに問題があったものであり、設計・監理者として大変遺憾に感じております。

弊社は工事監理において、工事を設計図書と照合し、設計図書のとおりを実施されているかを確認する責務がありますが、施工者が品質管理上不都合な兆候を把握した際に、監理者や発注者等の関係者への報告や協議を行わず、施工者側が意図的に不都合な事実を報告せずに自主検査記録の書き換えを行うと、工事を進める中で監理者が当該事象に気づくことは困難であると考えております。しかしながら、監理計画書通りに監理業務を行っていたとはいえ、鉄骨工事の途中段階において記録の書き換えなどを監理者として捕捉できなかったことは厳粛に受け止めています。

一方、鉄骨建方の精度管理の施工結果として、本プロジェクトの実施設計図書（構造設計図）に記載されている準拠図書 JASS 6 で規定している限界許容差を超えた場合でも、直ちに構造強度に影響が生じるということではありません。その場合は、鉄骨建方精度不良が仕上げも含めた建物全体の構造健全性に与える影響を十分検証することが必要となります。

今回の事象を受け、鉄骨建方の結果としての精度が建物構造性能並びに建物全体の健全性に与える影響について、正しい施工記録、施工者と共に確認した建物の再計測および各部位の再確認記録や施工者が行った検証結果に基づき、設計図書に規定している本建物の耐震性能をはじめとした健全性に問題がないことを設計・監理者として確認しています。

今回このような事象が起こってしまったことを弊社としても真摯に受け止め、発注者様をはじめとする関係者様の安心を最優先し、耐震性を含む安全性と高い品質を確保し竣工できるよう、設計・監理者としての責務を全ういたします。

以上